

# 魚の“旬”をお知らせします！ 魚市場水揚げ通信

## 女川魚市場 編

### 5月号



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部  
「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.34(1) (平成30年5月31日発行)



マサバ



マイワシ

## 今月の水揚げはサバ・イワシが主体です

金華山や江島沖にはサバ・イワシの魚群が来遊しており、連日数十トン単位での水揚げが続いています。

水産庁による平成29年度資源評価報告書によるとマサバ・マイワシとも資源水準は中位、動向は増加となっており、今後の継続的な水揚げが期待されます。

取材当日のサバ・イワシの水揚げは、大型定置網で116トン、まき網で120トンであり、場内では活気に溢れていました。



大型定置網漁船



まき網漁船

## 定置網

金華山周辺はサバ・イワシ、江島周辺はイワシ主体に水揚げがありました。

当日は、サバ・イワシのほか暖水性のマダイやウルメイワシなどが水揚げされており、今年海況は暖水勢力が強いので、入網したのかもしれませんが。



魚槽いっぱいのサバ・イワシ



選別機に乗った大量のサバ・イワシ



マダイ (岡清さん)



ウルメイワシ (目が大きい)



カナガシラをくわえたキアンコウ



# まき網

漁場は江島沖3マイル(1マイルは1,852m)と沿岸にあり、鮮度抜群のイワシが水揚げされていました。これから、まき網は魚群を追って北上しますが、なるべく宮城沖に長く留まって欲しいものです。



入港したのは北茨城市の第七十一不動丸です



まき網漁船による水揚げ



魚槽のイワシはたくさんの水で冷やされています



水揚げされたイワシ(サバ混じり)



水揚げ終了後は網の修理をしていました



第七十一不動丸船長の坂本さんに話を伺いました。

江島沖にはイワシ主体の魚群があり、今日は2回網を巻いて120トンのイワシを漁獲しました。今回は銚子から出港し、魚群に合わせて北上してきました。今後の漁に期待したい。



女川魚類運送企業組合の鈴木組合長さんに話を伺いました。

トラックは震災前30台以上保有していましたが、震災後は水揚げの減少により、現在はトラック14台。女川に水揚げされた魚は、銚子や波崎方面へ輸送しています。現在82歳で現役。毎日魚を食べて健康を維持しています。今後とも、無謀運転を防止し、安全運転で頑張ります。

**編集後記** 今回が初めての担当です！

取材した朝6時頃の魚市場は、入船している船が少なく、予想したより静かな場内でした。ただ、ギンザケの選別機付近は活気があり、迫力のある作業を見ることができました。

8時頃からは定置網船やまき網船が続々入港して、水揚げ作業が始まると、ますます魚市場は活気づきました。

昼夜を問わず漁をしている漁師さんや魚市場で働いている方々のおかげで、新鮮で美味しい魚を食べられるのだと改めて実感しました。(C.T)



女川魚市場内の朝定食です(600円)

[お問合せ先]

宮城県東部地方振興事務所  
水産漁港部

TEL:0225-95-7914, 1473